

Woven City

三浦 正

- Woven Cityとは、トヨタ自動車が出資するトヨタ自動車東富士工場跡地(70.8万m²)に建設する実験都市
- ・開発はトヨタの子会社「Woven Planet Holdings」傘下の「Woven Alfa」が行う
 - ・150m × 150mの土地を1区画として、各区画で様々な実証実験を行う
 - ・地上には3種類の道路を設ける。自動車専用、低速(パーソナルモビリティ)道路、歩行者専用。
 - ・狙い; CASE等自動車を取り巻く環境は大きく変化している、この変化に備え新しい技術やサービスを導入・検証する場として此処を活用する。技術やサービスの開発と実証サイクルを早く回し新たな価値やビジネスモデルを生み出す。人を中心にした街でモビリティの未来を創る。
 - ・自動車会社だけでなく多くのパートナーと共に作る、NTT、パナソニック他

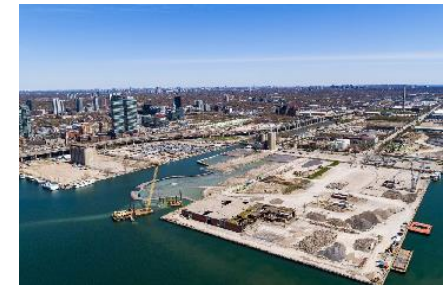


<Woven City 設立前後の関連する動き>

- ・設立前; 2016.1にTRIをシリコンバレーに設立し人工知能技術に関する先端研究やMIT、スタンフォードとの連携、自動運転開発などを手掛ける。
2019.3ソフトバンク他とMONET Technologies設立、2019.5パナソニックとプライムライフテクノロジーズ設立
2020.1のCESでWovenCity構想を発表。
- ・設立後; 各社との連携を進める。Nuro(自動搬送のロボテックス企業)に出資、ENEOSと水素エネルギー利用の検討を開始、いすゞ、日野と自動地図生成プラットフォームの活用検討開始、等

<国内外のスマートシティ構想>

- ・Googleのスマートシティ構想;
2017年からトロント市でスマートシティ計画を開始、WovenCityに先駆けた構想。収集するデータのプライバシー問題で撤退。
- ・ラスベガスでのスマートシティ構想; 市、NTT、Dell他で共同実験を開始
- ・中国; 杭州市でIT大手Alibabaの取り組み
- ・日本; 秋田仙北市、宇都宮市、栃木県毛呂山町、柏市、静岡県など



Googleのスマートシティ構想